
日本学習社会学会 年報

2017年9月 第13号

目 次

【日本学習社会学会第13回大会報告】

公開シンポジウム

地域と学校の協働が子どもを育む ―川崎市「地域の寺子屋事業」を事例として―

シンポジウムの目的	田中 雅文	2
I. 川崎市「地域の寺子屋事業」の特色	片山 美緒	3
II. NPO法人型の事例 「遊びと学びの寺子屋」～中野島小学校～	大下 勝巳	8
III. 川崎市「地域の寺子屋事業」 地域ネットワーク型の事例 ～寺子屋すみよしの取り組み～	金田 幸子	11

課題研究プログラム

課題研究Ⅰ 多文化共生社会をめざす教育

「多文化共生社会をめざす教育 (Education for Multicultural Symbiosis Society)」

まとめ……………江原 裕美 16

報告 Informal English Learning Models for Japanese:

Collaborative Experience with Australia

(日本人のための自発的英語学習：オーストラリアとの共同体験)

Dat Bao

……………西山 節子 19

ヨーロッパの学校教育におけるムスリム移民主体の取り組み

……………見原 礼子 27

課題研究Ⅱ 「子どもの学習権」再考

「子どもの学習権」再考」まとめ……………石井山竜平 32

報告 学習権からみた学校と地域の連携

―学校と地域の連携でつくる芸術文化による授業実践を通して―

……………柴田彩千子 34

フリースクールにおける学び……………西野 博之 38

マイノリティの子ども達に対する学習権の保障……………宇津木奈美子 42

【研究論文】

企業における新卒一年目の新人の学習過程

―IT企業における正統的周辺参加を手がかりとして―……………山内 貴弘 48

学校と学習塾の連携可能性の多様化 —1999年以降の新聞記事の分析から—	早坂めぐみ	59
---	-------	----

【研究ノート】

芸術文化活動からみた学校と地域の再編・連携の様相 —合併地区での学校統廃合の動きを踏まえて— 丹間 康仁・大蔵真由美・竹井 沙織・大村 隆史		70
学習社会における資質・能力を育成する教育のあり方 —アンドラゴジーの視点からシュタイナー教育を読み直す—	本間 夏海	80
北海道マラソンボランティアにおける組織市民行動の促進要因	大後 茂雄	90

【書評】

小島弘道・勝野正章・平井貴美代 著 『学校づくりと学校経営』（学文社）	浅野 秀重	99
東京社会教育史編集委員会編 『大都市・東京の社会教育 歴史と現在』（エイデル研究所）	渡邊 洋子	100
武井哲郎著 『「開かれた学校」の功罪 ボランティアの参入と子どもの排除/包摂』 (明石書店)	玉井 康之	101
赤尾勝己編著 『学習社会学の構想』（晃洋書房）	福田 誠治	102
佐藤晴雄著 『コミュニティ・スクールの成果と展望—スクール・ガバナンスとソーシャル・ キャピタルとしての役割—』（ミネルヴァ書房）	梶 輝行	103

【図書紹介】

新井郁男著『教育経営の理論と実際』（教育出版）	岩崎 正吾	105
-------------------------	-------	-----

【第13回大会を終えて】	田中 雅文	106
---------------------	-------	-----

【諸規程及び役員名簿等】		107
---------------------	--	-----

- 日本学習社会学会会則
- 日本学習社会学会役員選出規程
- 日本学習社会学会編集委員会運営規程
- 日本学習社会学会年報執筆規程
- 日本学習社会学会年報編集規程
- 日本学習社会学会著作権ポリシー
- 日本学習社会学会研究推進委員会運営規程
- 日本学習社会学会国際交流委員会運営規程
- 日本学習社会学会学会賞に関する規則
- 役員名簿

【英文題目】		115
---------------	--	-----

【編集後記】		116
---------------	--	-----